

講義コード	1155	科目区分
(フリガナ)	シャカウフクシエンジョギジュツロンサン	(フリガナ)
授業科目名	社会福祉援助技術論Ⅲ	担当教員名
英文授業科目名	Theory of Socialwork3	
基準年次(開講期)	3年次(前期)	履修形態
曜日/時限/講義室	3年次/3・4時限/322教室	
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)
単位	4	週時間
授業のキーワード	援助技術、対人援助	
授業概要・目的	本講義は、実際に対人援助を行う際に必要とされる知識を習得し、実習その他の場面でコミュニケーションや信頼関係作り、援助できるように、必要な知識を涵養する。	
到達度評価の 評価項目	(1)ソーシャルワーカーの業務内容について論述することができ (2)相談援助の理論を具体的な手法として理解することができ	
授業計画		
第1、2回	初回講義オリエンテーション、相談援助とは 講義の進め方、注意事項についての相互理解を進める。本学の	
第3、4回	相談援助の構造と機能 構造、ニーズ、機能、相互作用	
第5、6回	人と環境の交互作用	
第7、8回	相談援助における援助関係	
第9、10回	相談援助の展開過程1 ケース発見から支援の実施まで	
第11、12回	相談援助の展開過程2 モニタリングから集結まで	
第13、14回	相談援助のためのアウトリーチ、契約 モニタリングから集結まで	
第15、16回	相談援助のための契約	
第17、18回	相談援助のためのアセスメントの技術	
第19、20回	相談援助のための介入の技術	
第21、22回	相談援助のための経過観察等の技術	
第23、24回	相談援助のための面接の技術	
第25、26回	相談援助のための記録の技術	
第27、28回	相談援助のための交渉の技術	
第29、30回	前期まとめ	
教科書・参考書等	教科書:社会福祉士養成講座編集委員会(2015)新社会福祉版」、中央法規出版 参考書:各出版社から刊行されている社会福祉士受験対策用	
授業で使用する 機器等		
予習・復習への アドバイス	援助技術を理論的に学ぶ科目ですが、学びを学びだけで終わら	
履修上の注意・ 受講条件等	社会福祉士受験科目「相談援助の理論と方法」の指定科目で 余すことなく学び、理解を深めてほしいと思います。	
成績評価の基準等	学期末試験とレポート課題(不定期)によって評価する。学期末	
メッセージ		
オフィス・アワー	後日オフィスアワーが提示されるので、その時間を積極的に活	

その他	
-----	--

社会福祉士関連科目
ヨコヤマジュンイチ
横山順一

選択科目／社会福祉士国家試験受験指定科目

講義中心／学外実践学習あり

4

得することを目的とする。ボランティアや社会福祉
をするにあたり、客観的な視点に基づいて実践で

きる
る

の教育方針における本科目の意義の理解について

士養成講座7「相談援助の理論と方法 I 第3

のワークブック等

かせないために、一部時間を学外での実践学習と

もありますので、社会福祉士を目指す学生は特に

末試験：90%、レポート課題10%

活用してください。

